

# 学生担当者報

2  
- Vol.336 -

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/吉川万寿彦 編集責任者/松村孝吉  
[TEL]0743-63-1511 (内線5817) (直通)0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780  
[E-Mail]tsa@tenrikyo.jp [TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教178年  
平成27年1月25日発行

## お知らせ

### 二月例会

- ・期日 立教178年2月25日
- ・時間 15時半受付、16時開始
- ・場所 教庁4階講堂

### 学生層育成者講習会

#### 日程・会場案内

##### 【教区】

- ・神奈川 2月2日10時〜 教務支庁
- ・岩手 2月2日10時〜 教務支庁
- ・山口 2月3日12時40分〜 教務支庁
- ・京都 2月11日13時30分〜 教務支庁
- ・香川 2月11日10時〜 教務支庁
- 【直属】
- ・東中央 2月19日14時〜 大教会
- ・嶽東 2月20日12時〜 大教会
- ・松阪 2月20日12時〜 大教会
- ・笠岡 2月21日11時30分〜 大教会
- ・甲府 2月22日12時〜 大教会
- ・双名島 2月22日11時〜 大教会
- ・越乃國 2月23日12時〜 大教会
- ・生野 2月23日12時〜 大教会

## 報告

### 十二月例会

去る12月25日、教庁4階講堂に於いて「十二月例会」を開催。出席は39教区、112直属。

### 各地の動き

#### 【教区学生層育成者講習会】

- ・北海道 12月6日 教務支庁 21名
- 吉川委員長出向

### 人事

《立教177年12月25日》

【直属学生担当委員長辞令交付】

- ・大碓定臣（紀陽・尾崎）

### 業務記録

《立教177年12月16日〜立教178年1月15日》

12月18日 春の学生おちばがえり

プロジェクト会議

19日 事務局連絡会

屋内プログラムチーム会議

学修部部会

20日 『Happyist』納品

22日 『Happyist』梱包

23日 教区学生リーダーの集い（25日）

25日 委員会

例会

《屋内》まなびば事前研修会

広報室会議

担当者活動部部会

出版部部会

1月4日 おせち学生ひのきしん隊（7日）

5日 新刊本チーム会議

出版部部会

6日 学修高校卒業生コース会議

7日 まなびば研究室会議

学修部部会

8日 委員会

学修高校の部研究室会議

明日のHARP会議

担当者活動部部会

9日 学修大学の部研究室会議

学修部部会

13日 屋外プログラムチーム会議

## 学生に信仰を続ける喜びと楽しみを



教祖百三十年祭に向かう  
三年千日年祭  
活動も三年目

を迎えた。多くの本部直属教会では、本年が仕上げという言葉に相応しい年となるように、おたすけの実動の成果を表そうと、教会設立の元日に縁ある教会毎で、別席団参を計画されている。

今より百三十年前、つとめの完成を急ぎ込まれ、ご苦勞の道中をお通りくださる教祖のもとに、多くの帰参者があつた。その中に、我が家の信仰初代家族の姿もあつた。教祖は初代夫婦に対して、道を通る上での心構えを、そして子どもたちの将来を楽しみに、温かいお言葉をお掛けくださった。おちばに帰り、おたすけ、いただいた人たちは、教祖からその喜びで今度は人をたすけることを

教えていただいた。

明治二十年陰曆正月二十六日より後は、現身をお隠しになられた教祖の存命の理をいただいて、先人たちはおたすけに奔走された。そして、信仰初代・二代にあたる人々は、各地において、教会設立のお許しをいただかれ、今日の道の礎を築かれた。ただかれ、今日の道の礎を築かれた。先の学生担当者大会において真柱様は、「初代には初代の喜びがあり、二代なら二代でなければ味わえない喜び、三代なら三代でなければ味わうことのできない喜びがあるはずであります。私たちはそれを進んで求め、信仰を続ける喜び、楽しみを見出すべきではないかと思うのであります。」とお言葉をくださった。

学生たちにとって、信仰を続ける喜び、楽しみを見出す機会の一つが、「元をたすけ、今を生き、明日を拓く」おたすけの喜びを胸に」をテ

### 学生生徒修養会部 委員

宮田 幸一郎

「マ」に開催する学生生徒修養会大学の部である。先人たちは、教祖にたすけていただいた元一日へのご恩報のために、おたすけに歩かれ、それぞれに成人の歩みを進められ、明日に向かってこの道を切り拓かれた。その足跡の上に、この度の年祭に向かう私たちがあつた。

これからの道を担うよう、ぼくとして、教祖がご期待くださっている学生たちに、おたすけの喜びを伝えられるよう、自らが育つ努力を重ね、共に成人する姿をご存命の教祖にご覧いただき、お喜びいただきたい。

学生一人ひとりの心の成人は、私たち育成者の声掛けから始まる。年祭活動の眼目である「おたすけ」を念頭に、勧誘に努めたい。多くの学生たちの受講を心よりお待ちしております。

立教178年 学生担当委員会 活動方針

『おたすけの喜びを学生に！』～あらしとよりよう・みちのだいとして共に育とう～

## 立教百七十八年 おせち学生ひのきしん隊 報告

今年も新春の親里で開かれた「お節会」に際して、おせち学生ひのきしん隊を結成し、「喜びあふれる笑顔と明るい声のさわやかなおもてなし」を合言葉に、国々所々からおぢばに帰って来られた方々に喜んでいただけるよう、ひのきしんに励みました。

今回のおせち学生ひのきしん隊には、全国各地から三百三十九名（高校生百四十六名、大学生百九十三名）の学生たちが参加し、一月四日から七日まで本部第十二母屋と第三十八母屋で合宿し、「お節会」第三・五・六会場で給仕や誘導、洗い方などのひのきしんをつとめました。第三会場では婦人会の方々と共に、第五・六会場では管内学生と共に、帰参された方を元気のよい挨拶で迎え入れ、誘

導、給仕にあたりました。また、二十二人の大学生が炊事本部において水菜洗いのひのきしんを喜び勇んでつとめました。学生たちはさまざまな持ち場で、仲間とともに心からのおもてなし、笑顔の挨拶など、お帰りいただいた方々に喜んでいただくために自分ができることを実行し、おぢばで真実の種を伏せ込ませてもらった有意義な四日間となりました。

## 参加者の声（感想文より抜粋）

●班のみんなと仲良くなれて、とても楽しく過ごせました。また、帰参者の方から「ありがとう」など言われてすごく嬉しかったです。

たくさんさんの笑顔を見ることができ、私もたくさん笑うことができ、充実した四

日間を過ごさせてもらえました。

（大学生 女子）

●忙しくて大変だけど、本当に充実した楽しい三泊四日でした。たくさんのお出会いと帰参者の方々の笑顔を見ることができ、やりがいと喜び、感謝にあふれる大好きな行事なので、参加できてよかったです。

（高校生 女子）



立教178年

## 教区・直属HARP講習会 開催要項

「僕にも学担の御用をさせてください!」と言われたら嬉しくないですか?

～まずは「育てる人」を育てる～

学生層の育成が大切なのは分かっているけど、何から取り掛かればいいんだろう? そんな声をよく耳にします。

「教区・直属HARP講習会」は個々がHARPの特性を学び、その技術を身に付けるだけでなく、教区や各教会におけるスタッフ間のチーム力を高めると共に、即戦力となる人材の育成に役立つ講習会です。開催を希望されます教区・直属は下記の要項に沿ってお申し込みください。

### 記

- ◎ 内容 HARP経験の浅い方や未経験者を対象にしたHARPの実体験など、開催教区・直属のニーズに合わせ、出向委員と相談の上プログラムを作成します。
- ◎ 講師派遣 委員1名、本部スタッフ若干名（受講者数により決定）が出向します。  
※派遣にかかる交通費は本部学生担当委員会にて負担します。
- ◎ 開催要件 1泊2日かつ実質10時間以上の講義・実習時間が確保できること。  
※2グループ以上（1グループ5～8名）の参加が望ましい。  
開催日は本会行事（学生生徒修養会・春の学生おぢばがえりなど）に重ならないこと。
- ◎ 申し込み 開催2カ月前までに所定の用紙にてお申し込みください。

# 立教百七十七年 直属HARP講習会 開催報告

## 【城法大教会】

昨年十一月一、二日、城法大教会にて城法  
 学担主催の第四回HARP講習会を開催した。  
 これは、学生会活動には参加していたが、  
 社会人になり日常の忙しさなどから、段々と  
 大教会から遠ざかって、青年会や女子青年の  
 活動にも繋がりにくい方達に、この研修会を  
 通して再度教会に繋がっていただけるように  
 とのコンセプトで始めさせていただいたもの。  
 今回は、そうした方々と青年会、女子青年  
 の委員層、ならびに現役学生(大学生、専門  
 学校生)との交流を図る上から、参加対象を  
 十八〜三十五歳までの男女とさせていただい  
 た。また、本部から五名のスタッフの出席を  
 お願いし、終日ドツプリとHARPの世界に  
 浸ってもらうことをねらいとした。

当日は、三十名の参加を頂き、五班体制で  
 終始和やかに楽しくプログラムを体験してい  
 ただいた。プログラムはオードックスなも  
 ので、ウォーミングアップから始まり、自己  
 紹介系、グループ凝集性系、ねりあい系、ク

ロージングという流れであるが、一つだけオ  
 リジナルといえば、一日目の夜のあいさつ後、  
 大教会長様を囲んでの懇親会である。

大教会長様のご厚意でいただき、参加  
 者が直接声を掛けていただき、またとない機  
 会であると共に、学生会の同窓会的な要素も  
 あり、参加者には喜んでいただいている。

このようなプログラムを通して、お互い城  
 法の仲間との認識を深め、信仰の一助になれ  
 ば幸いである。

(城法学生担当委員長 岡本道典)

## 【参加者感想】

●お道について、みんなで考えたり、グルー  
 プワークを通して、たくさんの人々に支えら  
 れていることを感じとれました。

●日々健康で、毎日生かされている事に感謝  
 して生きていきたいです。

●丸い心で通らせてもらう、心のあり方、人  
 それぞれの考え方を知り共有できて、改めて  
 皆違って、それぞれいいことを再認識できま  
 した。

## 【防府大教会】

防府学生担当委員会では昨年六月二十九、  
 三十日に、大教会を会場に「HARP講習会」  
 を開催。大教会の学担・青年会・少年会の各  
 委員など三十五名が受講しました。

この講習会は、二カ月後に控えた八月二十  
 三、二十四の両日に学担と青年会が共催する  
 「防府学生の集い〜SHABER!場〜」(HARP  
 Pを取り入れた学生層育成の行事)のスタッ  
 フ事前研修会として、また各会の若い層への  
 人材育成に活かしてもらえたらと、本部より  
 辻雄二郎委員と本部スタッフ三名をお迎えし  
 て開催させていただきました。

初日は四班に分かれて実施しました。まず、  
 「ウォーミングアップ」で緊張をほぐした後、  
 「お言葉カルタ」「情報紙『ルーツを探れ!』」  
 「価値の順番」を行いました。引き続き、  
 辻委員より「HARPとは」の講義をいただ  
 きました。これまでのエクササイズでHARP  
 Pの効果を体感した受講者は、「うん、うん」  
 とうなずきながらメモを取り、真剣に耳を傾  
 けていました。

二日目は、クロージング「ほめちぎり大会」。  
 その後、HARPについての質疑応答の時間

を設けました。この時間は、さまざまな質問  
 が投げ掛けられ有意義な時間となりました。

閉講後、「HARPって凄い!」「トレー  
 ナーの方の接し方がすごく勉強になった」「班  
 員の意外な一面が見れて楽しかった」「是非  
 また開催してほしい」など喜びの声が寄せら  
 れました。おかげ様で「SHABER!場」がより  
 充実した行事になったことはもちろん、この  
 講習会をきっかけに、本部の「HARP研修  
 会」を受講した方もおられました。

何より教祖百三十年祭に向かう三年千日の  
 大切な時々に、この講習会を通じて「HARP  
 Pマインド」(「おたすけの心」)を身に付け  
 させていただくことができました。

(防府学生担当委員会 副委員長 吉村辰徳)



11月1日	プログラム内容	11月2日	プログラム内容
13:30	ウォーミングアップ	6:30	朝づとめ
14:15	開講式	7:00	朝食
14:45	Ex①「SEVENS」	8:15	朝のあいさつ
17:00	夕食	8:30	Ex③「価値の順番」
18:30	夕づとめ	11:30	昼食
19:00	Ex②「クロスインタビュー」	12:30	Ex④「サポーター」
19:15	入浴	14:30	Ex⑤「ほめちぎり大会」
21:30	夜のあいさつ	16:30	閉講式

## ～出向委員の所感～

城法のHARP講習会は参加者同士の交流が目的でした。もともと、参加者にその素地はあったので終始和やかな雰囲気でした。参加者の方々には今回の講習会をきっかけに、学生会時代を思い出し、今後城法大教会につながっていただけたらと思います。

## 学生担当者報

6月29日	プログラム内容	6月30日	プログラム内容
10:15	開講式	5:30	朝づとめ
10:45	ウォーミングアップ	8:30	朝のあいさつ
11:15	Ex①「お言葉カルタ」	9:00	Ex④「ほめちぎり大会」
13:30	Ex②「ルーツを探れ!」	10:15	質疑応答
15:30	Ex③「価値の順番」①	11:00	閉講式
18:30	夕づとめ		
19:15	Ex③「価値の順番」②		
20:00	講話「HARPとは」		
21:00	夜のあいさつ		

## ～出向委員の所感～

HARP講習会初開催でしたが、多くの方が参加されて、にぎやかな講習会でした。みなさん熱心に講義を聞いてくださり、その後のエクササイズや休憩中でも講義の内容に関する発言が出ていました。三会同体でしたので、大勢の人数が集まったのではないのでしょうか。反応はとても良かったです。

### 立教百七十七年 冬期直属学生リーダー講習会 報告

昨年十二月十三日から十四日にかけて、本部第二母屋を会場に「立教百七十七年冬期直属学生リーダー講習会」を開催し、四十四直属教会、二教区より九十四名が参加しました。

初めに、学生担当委員会松村副委員長より挨拶があり、その後班ごとに分かれ「教会について」というテーマでねりあいが行われました。まず、自分の直属や所属する教会との繋がりが、その繋がりによる心の変化や影響について意見が交わされました。ねりあいを通して、改めて教会について考え、教会の意義や目的を確認し合いました。続いて、中田祥浩委員より「学生の信仰と教会」というテーマで講話があり、自身の体験を交えながら教会に繋がることの大切さについて話されました。その後の振り返りでは、自分自身の日常を思い返ししながら、教会に繋がることの大切さを再確認し、直

属に繋がる学生として自覚を高めました。その他に、第五十二期天理教学生会委員長日水信悟君より、「教祖百三十年祭学生おぢばがり大会」へ向けての意気込みが語られ、大会動員一人に向けて一手一つに活動していくことを誓いました。また、今後の学生活動に活かすことを目的としたゲーム講習会が行われ、充実した一日目を過ごしました。

二日目には、直属教会における学生活動の必要性を見出し、自分たちの活動の意義をねりあいました。また、春学についての時間ももたれ、大瀬実行委員長の挨拶や、直属アワの歴史、各直属の直属アワー紹介などが行われました。今回のリーダー講習会を通し、学生たちは教会に繋がることの大切さを再認識し、今後の直属学生活動の充実を誓い合いました。

### 「まなびば」開催会場一覧 《2月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者
静岡	2月7日13時～8日15時	佐野原大教会	新村 隆浩
大阪	2月7日13時～8日15時30分	中河詰所	矢野 恒英
奈良	2月7日13時30分～8日15時	敷島詰所	梅本 俊一
北海道	2月14日14時～15日15時	教務支庁	大友 善一
千葉	2月21日15時～22日15時	教務支庁	三橋 力

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

### 学生担当者報

### 立教百七十七年 冬期教区学生リーダーの集い 報告

昨年十二月二十三日から二十五日にかけて、本部第十二母屋を会場に「立教百七十七年冬期教区学生リーダーの集い」を開催し、三十教区、三直属教会から百十八名が参加しました。

初めに、開講式で学生担当委員会吉川委員長より挨拶の後、班ごとでウォーミングアップが行われました。初めは緊張していた参加者も、次第に班の雰囲気になじんできました。その後、教祖年祭について一年祭から今までの動きを振り返り、教祖年祭の意義を再確認しました。また、第五十二期天理教学生会委員長の日水信悟君より、十一月に行われた選挙での所信表明演説、質疑応答が行われ、真剣に話を聞く参加者の姿が見られました。

二日目には、引き続き質疑応答が行われ、その後大瀬実行委員長より立教百七十八年春の学生おぢばがえりの趣旨・テーマについ

ての説明があり、動員六千名への思いが語られました。また、今後の学生会活動に活かすことを目的としたゲーム講習会が行われ、夜には春学についての時間があり、参加者は動員目標の六千名に向けて、それぞれができる動員方法を共有し、多くの友へ声を掛けていくことを決意しました。最終日には、「教会に繋がる事の大切さ」について深谷太清委員より講話があり、お道を信仰する上では教会に繋がる事が不可欠である事を話され、たくさんの方が考えを深めるきっかけとなりました。

最後に、決起の集いが行われ、学生担当委員会松村副委員長による挨拶の後、学生による感話、「希望の花」の斉唱をし、教祖百三十年祭、そして、「教祖百三十年祭学生おぢばがえり大会」に向けて、より一層の活動の充実と、春学動員六千名を目指してその実動を誓い合いました。

### 青空

教祖は、私たちが温かく見守っておられる。日々生活する中で、教祖の親心を感じるたび、何とかその御礼をさせていただきたい、教祖の望まれる姿に近づきたいと思えます。

だから、年祭の句である今こそ、親心にお応えしなければならぬと心を奮い立たせませす。教祖の年祭は、教祖がたすけを急ぎ込んで現身をお隠しになられた元一日に立ち返り、それを心として、十年一節としてつとめる「たすけの句、成人の句」です。さらに年祭活動とは、教祖のひながたを目標に三年千日を仕切つて実動すべき旬なのです。

年祭は「成人の句」と申しますが、何もしないで成人するわけではありません。この句に何をさせてもらえばいいのかを考えたら、まず自分が変わらなければなりません。そして自ら動くこと。「自分が変わる」ことは口で言うのは簡単ですが、実に難しいことです。反省すべき点を見つめ、その上で成人する努力を一步一步前向きに積み重ねなければならぬと思います。年が明けて、教祖百三十年祭活動の仕上げの年にふさわしい歩みをさらに進めましょう。

都学生担当委員会 前委員長 岡口裕正

# 学生層の信仰のきっかけとして『Happist』の活用を！

## 二月は「Happist新規購読推進月間」です！

学生担当委員会では、二月を「Happist新規購読推進月間」として、次のような取り組みを致します。

1、中学三年生(四月より高校一年生)への呼び掛け

表統領室調査情報課の「教会長・布教所長家族及び住込人名簿」に基づき、中学三年生を対象に「卒業祝いカード」を添えて、『Happist』二月号を贈呈し、四月からの購読を呼び掛けます。

この二月号には、特集や連載企画に加え、おどばや各地で開催される学生会・学生担当委員会の諸行事を写真で紹介したカラーグラビア「TSA PERFECT GUIDE」を添えています。

まずは新高校一年生に『Happist』を実際に手に取ってもらい、その魅力を実感していただいて、新しい読者になって

らうとともに、所属教会長・布教所長から直接ご本人にお渡しいただくことで、少年会員を卒業した後の、引き続きの丹精のきっかけにしていきたいと思っております。

2、『Happist』活用推進チラシ

学生層への丹精の上で『Happist』を一層ご活用いただけるよう、活用推進チラシを各教会に一部ずつお配りいたします(二月例会にて、直属経由で配布)。

これは、読者の声から、学生層育成の上で『Happist』が大きな力を発揮していることを周知するだけでなく、年祭活動の旬、友人に『Happist』を手渡すことを、おたすけの実践の一つとして学生に向けて提案したものです。

ぜひ、各教区・直属学生担当委員会より働きかけていただき、教会長様方に『Happist』の活用を勧めていただき

ますようお願い申し上げます。

『Happist』を携えて、月に一度学生の元へ足を運び、一言の声を掛ける。また、直接手渡すことができない場合は、手紙を添えるなど、地道な働きかけを繰り返していくうちに、その学生とのつながりがより深まっています。

そうして学生の手元に継続的に届くことで、教理を学び、教祖の親心に触れ、「自分自身の信仰を見直すきっかけになった」という学生や、また様々な行事・活動を目にする中で、『Happist』が行事への参加のきっかけになった」という学生も少なからずいます。

さらに進んでは、学生からその友人へと『Happist』を手渡し、教えに触れてもらうことは、学生にもできるおたすけの実践の一つにもなります。こうした動きを通して、学生も共に成人の歩みを進めていただけたらと存じます。

僕は中学3年生です。教会の会長さんや高校生から学修の話聞いていましたが、いまひとつ関心を持っていませんでした。でも、今回学修の特集記事を見て、とても楽しそ

うだと思えました。早く高校生になって学修に参加したいです。

『Happist』のおかげで友人が天理教に興味を持ってくれるようになりました。来年は私の直属教会から一緒に春学に行くかと言ってくれています。

(『Happist』二九九号より)

月に一度届く『Happist』を通して、教祖は必ず学生一人ひとりにお働きくださるものと存じます。また、学生によるに、いかけ・おたすけの上にも力強い手助けになります。しかし、学生の手元に届かないことには何も始まりません。その橋渡しをするのが担当者であり、教会長の方々ののです。将来、学生がおたすけのできるよう、よくへと育つ上で、『Happist』は重要な鍵を握っています。まずは活用し、購読していただくことから始めます。

新規購読推進月間の取り組みを契機に、教会長への啓蒙、積極的な購読の呼びかけをさらに推し進めていただき、一人でも多くの学生に『Happist』が届きますよう、お力添えの程をよろしくお願いいたします。

### Happist 3月号 予告

## [特集] 師弟愛

連載

・教理コーナー

**おやさまのお言葉を身近に 中山 慶治** (本部員/本明寛分教会長)

・輝く生き方見つけよう

**Key Person 作曲家・筆楽奏者 稲葉 明徳**

・信仰エッセー

**明日の地図ひろげて 永尾 真理子** (本部婦人)

・東馬場先生と学ぼう!

**Happist ニュース 東馬場 郁生** (天理大学国際学部教授)

巻頭カラー

開催報告

おせち学生ひのきしん隊



個人宅に直接「Happist」が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

### Happist Photo Gallery

行軍中に「Happistカメラマン」が撮影した写真を販売しています。

- ◆内容：おせち学生ひのきしん隊
- ◆期間：平成27年1月25日～4月30日
- ◆購入方法：パソコンやスマートフォンで下記のURLにアクセスし、イベントIDとパスワードを入力して閲覧・購入してください。イベントIDとパスワードの内容については別紙資料「Happist Photo Galleryについて」をご覧ください。(インターネットでの購入が困難な方は、学生担当委員会事務局の窓口にて対応いたします)
- ◆頒布価格：L版40円 2L版100円 ※別途送料が必要。
- ◆URL：http://11kao.jp/

おせち学生ひのきしん隊

インターネット販売開始!!

# TSA website

各行事のチラシ、要項に加え、各種願書類も掲載しております。ダウンロード可能な資料を下記の通り、一覧に致しましたので、是非ご活用ください。なお、随時更新、削除いたします。予めご了承ください。



<b>高校生の集い「まなびば」</b> *要項 *チラシ *計画書 *報告書 *助成金申請書 *まなびば担当者変更届	<b>《大学の部》 学生生徒修養会 《高校の部》</b> *要項 *チラシ *日程表 *参加者発送資料各種 *参加に際してのお願い *募集要項申込用紙		*要項 *チラシ *日程表 *参加者発送資料各種 *携帯電話について *送迎 (8/9) について *健康管理について
<b>春の学生おぢばがえり</b> *要項 *チラシ *受付について *動員バック (全ページ) *引率のしおり (全ページ)	<b>おせち学生ひのきしん隊</b> *募集要項 *申し込みについて *参加概要 (委員長各位) *参加者発送資料	<b>HARP研修会</b> *要項 (申込書) *教区・直属HARP講習会 (要項、開催願、報告書)	
<b>教区・直属育成者講習会</b> *開催要項 *委員派遣願 *開催報告書 *助成金申請書 (教区のみ)	<b>活動方針</b> *学生担当委員会活動方針 *学生担当委員会年間行事予定 *天理教学生会活動方針	<b>Work &amp; Talk</b> *開催の手引き *募集要項 (各ブロック) *開催助成願 *予算書 *報告書 *決算書	
<b>変更届 (各種)</b> *委員長変更届 *Happist担当者変更届 *まなびば担当者変更届	<b>まなびば研修会</b> *屋内研修会要項 *屋外研修会要項	<b>教祖130年祭学生おぢばがえり大会</b> *開催概要 *希望の花 (音源・楽譜) *教区・直属巡回について	
<b>学生会関係</b> *委員総会要項 (申込書) *教区学生リーダーの集い開催要項 (申込書) *直属学生リーダー講習会開催要項 (申込書) *道の学生ひのきしんDAY要項、チラシ *学生会総会 (開催届、下付願、報告書)		<b>その他</b> *担当者大会のご案内 *担当者懇談会 (兼 参加票) *学生名簿交付願 *直属教会別天理大学名簿配布について *Happist購読推進月間チラシ	

ダウンロードはこちらから <http://tsa.tenrikyo.or.jp/>



# 立教178年 学生生徒修養会 大学の部

## 募集要項

- ▽ 期 間 …… 平成27年3月3日(火)～3月9日(月)
- ▽ 受講資格 …… ①平成27年1月8日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校  
高等専門学校(4年生以上)に在学している者。  
②全期間を通して受講できる者。
- ▽ 募集人員 …… 700名(男子350名、女子350名)
- ▽ 内 容 …… 講義、グループワーク、にをいがけ、ひのきしん、修練(おつとめ勉強)など。  
期間中に別席を1席運べる日を設けます。
- ▽ 集 台 …… 3月3日正午から12時30分までに指定された宿舎に集合してください。
- ▽ 解 散 …… 3月9日 午前10時頃、各宿舎にて
- ▽ 受講御供 …… 8,000円 所属の詰所(直属学生担当委員会)に納めてください。

## 申し込み方法

- ▽ 申込方法 …… 下記の書類を整え、最上級教会長の署名・捺印をいただいた後、  
学生担当委員会事務局に申し込んでください。  
・受講願書1通 ※特に学年の記入間違いのないようにお願いいたします。  
・返信用封筒1枚(住所、氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付してください)
- ▽ 受付期間 …… 平成27年1月8日～2月25日  
(事務処理の関係上、願書はなるべく2月15日までに提出してください)
- ※ 受講にあたっての詳細及び必要事項は、2月15日以降、書面にて随時本人に郵送いたします。また、TSA websiteでも詳細、必要事項が確認できますのでご利用ください。
- ※ 受講願書は学生担当委員会、各教務支庁にあります。

## 問い合わせ先

天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟3階 学生担当委員会事務局  
 《郵便》〒632-8790 天理郵便局私書箱1号  
 《電話》0743-63-2489(学生担当委員会事務局直通) / FAX 0743-62-5780

主催・・・天理教教会本部 事務局・・・天理教学生担当委員会